

# 2024年度 方針

2024年4月1日

公益財団法人 JAPAN BOWLING

会長 北川 薫

発足から60年を迎える2024年、全日本ボウリング協会は「JAPAN BOWLING」へと名を改め、新たな一歩を踏み出します。

日本のボウリング界の総本山としての覚悟、新時代に向けたインパクト、国内にとどまらず世界へと躍進する決意を、この名に込めました。

そして、JAPAN BOWLING のモットーは「BOWL for ALL!」です。すべての人にボウリングの魅力を提供することが、私たちに課せられたミッションです。

そのためには、これまで築いてきたものを活かしながらも、過去のイメージにとらわれることなく、時代に合わせて革新し挑戦し続けなければなりません。

新名称を、仲間たちと共有するための合言葉として、JB 会員・役職員の団結を深め、日本のボウリングファミリーと連携、協調しながら、ボウリング界の課題解決と発展を目指します。

## 2024年度 重点目標

1. ボウラーの個性に応じた事業展開
2. ボウリングをみる人々への事業展開
3. ボウリングを支える人・環境を充実させる事業

### 1. ボウラーの個性に応じた事業展開

#### (1) 競技ボウラーのレベルに応じた事業

- ・活動エリアに応じたイベントを開催し、ボウラー間交流の活性化を図る
- ・競技レベルに応じた大会を開催し、ボウラーのモチベーションと技量の向上を図る

#### (2) 各世代のボウラーに対応した事業

- ・ジュニアボウラーの年齢に応じた競技環境を整え、仲間づくりを促す
- ・ミドルエイジボウラーの競技継続を促す施策を展開する
- ・シニアボウラーの幅広いニーズに対応した事業を展開する

#### (3) ボウラーの様々な志向性に応じた事業

- ・より高い競技レベルを目指すボウラーへのステップアップの機会を設ける
- ・海外トーナメント、ツアーへの挑戦を促進する施策を展開する
- ・プロ競技者の入会、会員のプロライセンス取得を促す施策を展開する
- ・健康志向、レジャー志向のボウラーに向けたイベントを開催する

### 2. ボウリングをみる人々への事業展開

#### (1) ボウリングファンと選手の接点となる事業

- ・ファンとスター選手がともにプレーする機会を設ける
- ・エンターテインメント性の高い選手露出を図る

(2) ボウリングの情報を発信する事業

- ・ web サイト、SNS を活用した映像・情報配信を展開する
- ・ ボウリング技術向上のための情報発信を展開する
- ・ アプリの開発・運用によるフォロワーの新規開拓を図る

(3) ボウリングの殿堂・聖地となる直轄アリーナの設立推進

- ・ 観る楽しさをコンセプトとし、アスリートボウラーの強化につながるボウリング場を設ける

### 3. ボウリングを支える人・環境を充実させる事業

(1) ボウラーの競技活動に関わるスペシャリストの養成

- ・ 日本スポーツ協会公認ボウリングコーチ資格の取得を推進する
- ・ JB・USBC コーチングマニュアルの普及促進とコーチ有資格者の知識・指導力を向上させる
- ・ JB アカデミックスタッフによる技術解析と強化策開発を推進する
- ・ JB 公認ドリラーと選手の連携を強化する

(2) パラボウリングへの理解増進と支援者の養成

- ・ JBO と連携し、パラアスリートボウラーの認知・普及を図る
- ・ JB 公認競技場におけるパラボウラーへの理解・支援を推進する

(3) ガバナンスコードに基づく協会組織運営者の養成と抜擢

- ・ 協会の内外から、多様な人材を発掘し協会運営に登用する
- ・ 理事会、専門委員会における意見交換を今以上に活発化させ、新たな提案を積極的に採用する
- ・ 協会運営業務の IT 化、講習会や会議等のオンライン化を推進し、参加しやすい体制を構築する

この方針の実施にあたり、内閣府、総務省、文部科学省、スポーツ庁をはじめとする各省庁、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、一般財団法人地域活性化センター、ボウリング業界、特別協力各社との連携を密にし、役員はもとより会員の皆さんと共に方針の達成に邁進します。